

データで
みる

かわさきの 男女共同参画 2020



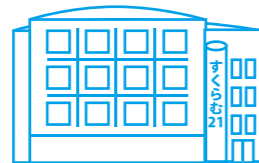
私たちの暮らすまち・働くまち・育つまち

すくらむ21

20
anniversary

川崎市男女共同参画センター
開館20周年記念企画制作

2018年度実施「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査」
結果より得られたデータをもとに、かわさきの男女共同参画データ
ブックとして作成しました。



発行年月：2020(令和2)年3月発行
制作・発行元：川崎市男女共同参画センター(愛称：すくらむ21)

所在地：〒213-0001 川崎市高津区溝口 2-20-1
ホームページ：<https://www.scrum21.or.jp/>
電話：044-813-0808 FAX：044-813-0864



はじめに

この小冊子は、川崎市民を対象とした男女共同参画に関する意識・実態調査から得られたデータを使用しつつ、既存統計も活用し作成したものです。

川崎市の“今”を知るためには、川崎市の“昔”や全国・他都市と比べてみるなど、何かと比較する必要があります。

そこで、川崎市全市データだけでなく、できるだけ、国や他都市、区別のデータを用いるなど、かわさきの特徴がわかるように工夫しています。

川崎市に住むことと、暮らすこと、働くこと、子育てすることについて、それから、私たちの人権について、考えてみるきっかけになれば大変幸いです。



目次

●	かわさきのキホン①	かわさきの人口	—————	P4-5
●	かわさきのキホン②	かわさきの世帯	—————	P6-7
●	かわさきで働く①	産業構造とジェンダー	—————	P8-9
●	かわさきで働く②	働く女性と雇用形態	—————	P10-11
●	かわさきで働く③	夫婦の働き方、生活の希望と現実	—————	P12-13
●	かわさきで子育て	男性の育児休業等利用実態と意識	—————	P14-15
●	かわさきで決める①	女性議員	—————	P16-17
●	かわさきで決める②	市役所・市立小中高校における女性管理職	—————	P18-19
●	かわさきの人権①	DV、デートDV被害実態、意識実態	—————	P20-21
●	かわさきの人権②	暴力のない関係を築くこと、相談	—————	P22-23



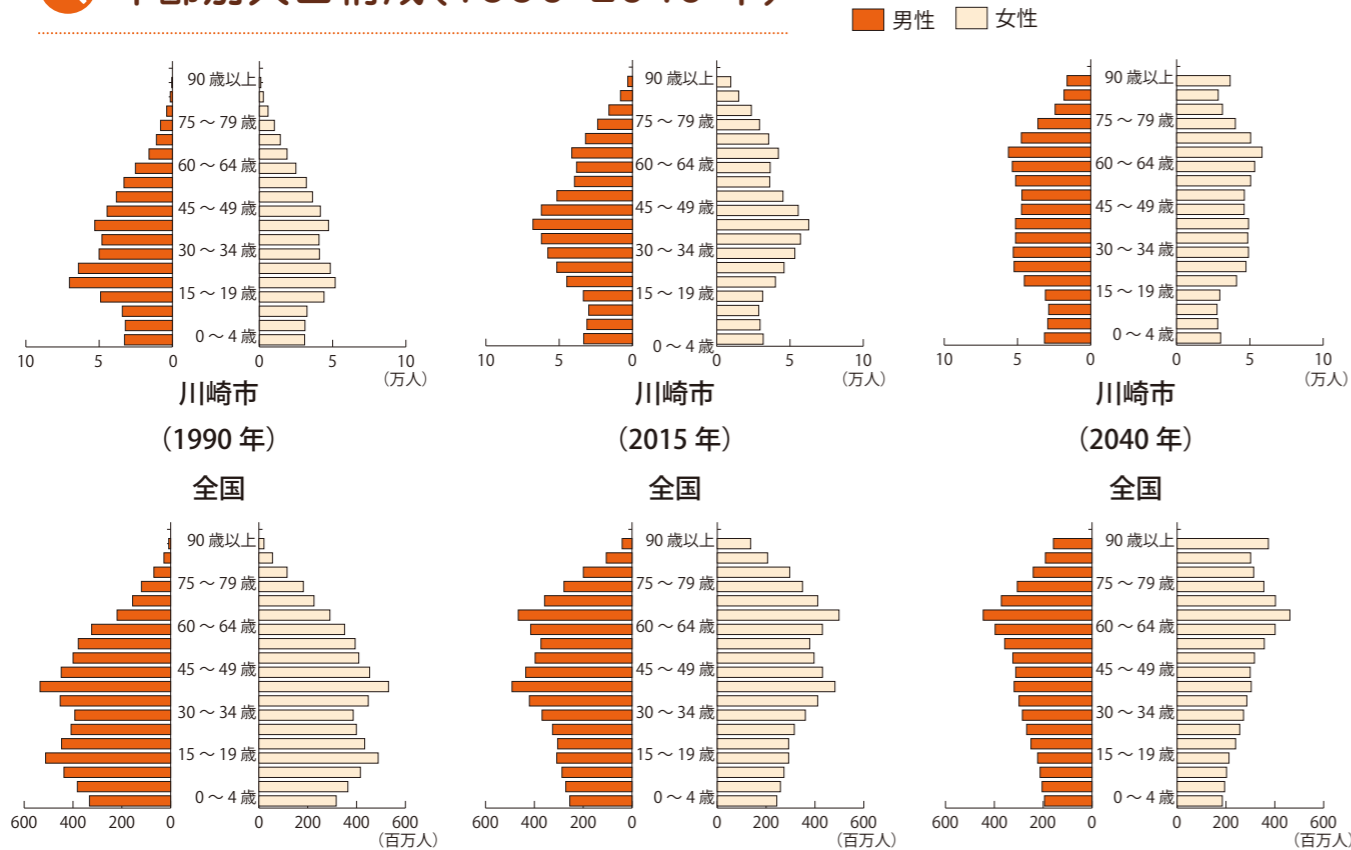
この小冊子の使い方

次ページから、見開き2ページごとにテーマを決めて、川崎市の状況がわかるようにデータを並べて簡単な解説を入れています。どのページからでも、ご覧ください。

かわさきの人口

川崎市は、1924年7月に人口48,394人で誕生し、2017年4月に153万人を超えました。現在は、政令市の中では20市中6位の人口規模です。ここでは、かわさきで暮らす人びとを「人口」という観点から見てみましょう。

年齢別人口構成(1990-2040年)



出典：1990年は「平成2年国勢調査」、2005年は「平成27年国勢調査」（いずれも総務省統計局）、2040年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（出生中位（死亡中位）推計）」を元に作成

2018年10月1日時点で、わが国は高齢者（65歳以上）人口が28.1%と、世界の中でも非常に高齢化の進んだ社会であるとともに、少子化も進行し人口減少が進んでいます。8割以上の市町村が人口減少している中で、川崎市は現在も人口が増加しています。さらに、全国平均から見ると、まだ若い都市であると言えます。全国と比較した人口ピラミッド*を見てみましょう。1990年には、全国とともに、つりがね型に近い形でしたが、2015年には、中央が膨らんだつぼ型になっ

ています。そして、将来推計によれば、2040年には、60歳代をピークとするより細長いつぼ型になること、つまり、より高齢化人口が増え、少子化も進むと予測されています。川崎市の性比（女性人口を100とした時の男性人口比率）は、1990年には111.0と男性が多かったのですが、2015年には103.1まで減少しています。2040年の推計では、100を割り込み、女性の方が多くなると見込まれています。

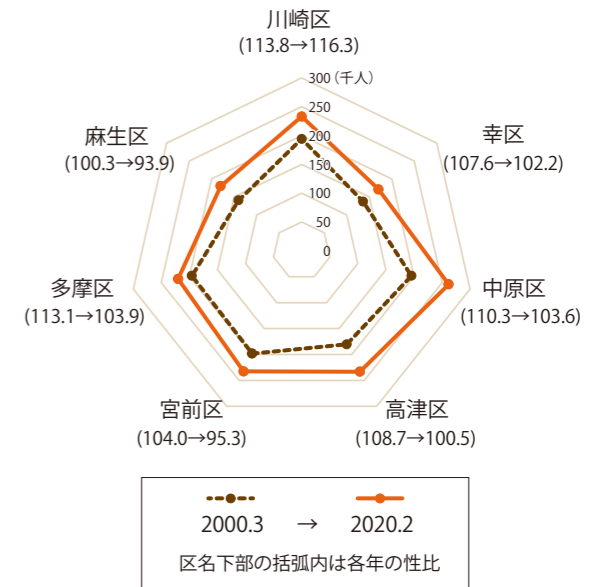
参考文献等

- *ここでは、川崎市と全国の人口をそれぞれ5歳階級別で若い年代を下に、高齢年代を上、男女を左右に分けて並べた図のこと。
- 川崎市「川崎市の世帯数・人口」
<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-3-1-0-0-0-0-0-0-0.html> (2020.2.12 取得)
- 川崎市「毎月世帯数・人口」
<http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000114697.html> (2020.2.12 取得)

区別人口の20年の変化

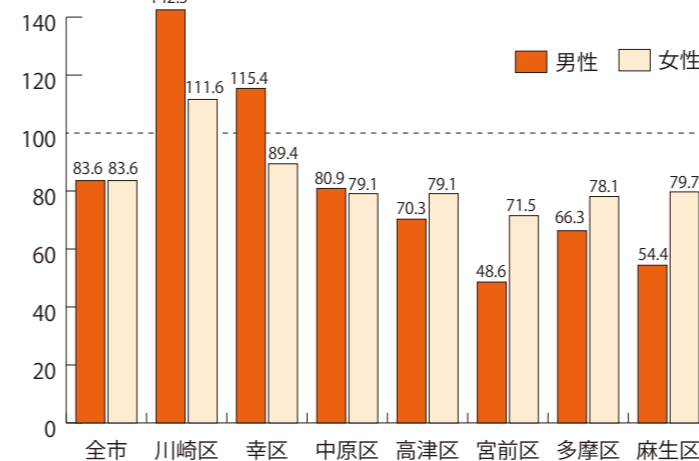
2000年と2020年を比べると、7区全てで人口は増加しており、特に中原区、高津区の人口増加率が高くなっています。性比を区別に見ると、2000年時点には全7区で100を超えており、いずれの区でも男性が多くいました。2020年には、川崎区以外では性比が減少し、宮前区、麻生区では100を割り込んでおり、女性人口が男性人口よりも多くなっています。

川崎市別人口変化(2000年～2020年)



昼間人口と夜間人口

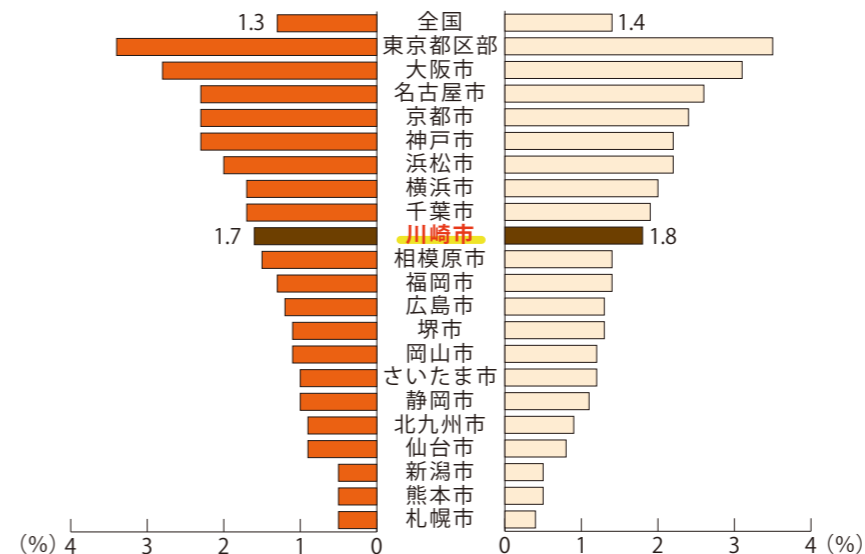
夜間人口を100とした場合の昼間人口の指数(2015年、20~64歳)



注) 昼夜間人口には労働力状態「不詳」を含む。また、昼間人口には従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。
出典：川崎市「川崎市の昼間人口ー平成27年国勢調査ー」

全市では男女とも昼間人口よりも夜間人口が多いことから、市外に通勤・通学する方が多いことがわかります。区別に見ると、川崎区、幸区では、男性は夜間人口よりも昼間人口が多いことから、区外から働きに来ている男性が多いことがわかります。宮前区と麻生区では、男性は昼間に不在にしている方が他の区と比べて多くなっています。

外国人住民割合(2015年)



川崎市は、全国平均と比較して、男女とも外国人住民割合が高いことがわかります。また、東京都区部や政令市との比較では、横浜市や千葉市に次ぐ割合で、東京都区部と20政令市のなかで9番目となっています。

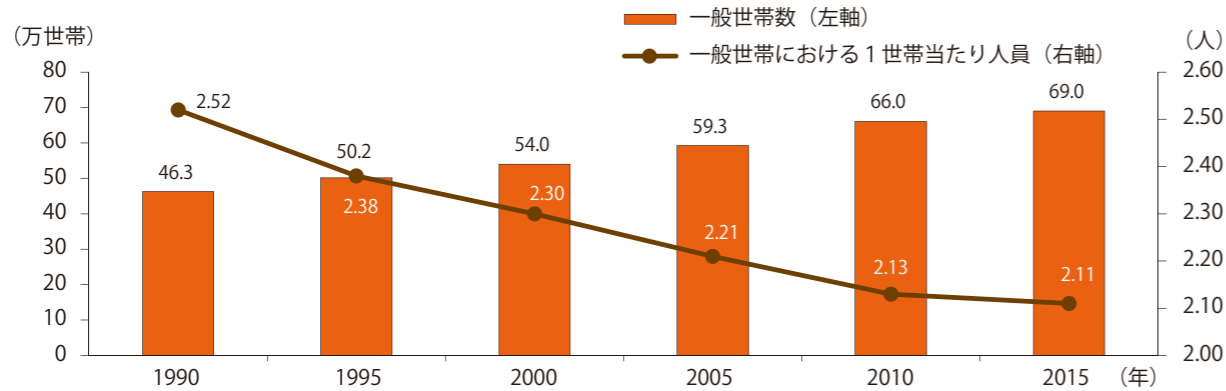
出典：総務省統計局「平成27年国勢調査」を元に作成

かわさきの世帯

「世帯」とは、国勢調査では、一般の家庭のように、住居と生計を共にしている人びとの集まりのことを指します。ここでは、「人口」に続き、かわさきで暮らす人びとを「世帯」という観点から見てみましょう。

世帯数(全市)

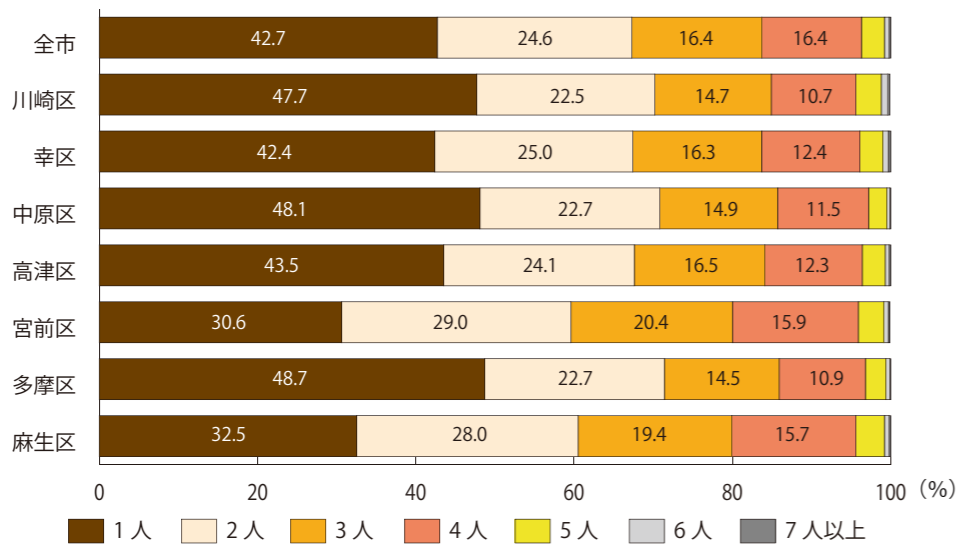
一般世帯数と世帯当たりの平均人員数の推移 (1990～2015年)



世帯数は増え、世帯規模は小さくなりました。

出典：川崎市「川崎市の人口(1)ー平成27年国勢調査ー」報告書

一般世帯の人員割合(区別)



出典：川崎市「川崎市の人口(1)ー平成27年国勢調査ー」報告書

区別に見ると、宮前区と麻生区は他区より2人以上の世帯割合が高めです。中原区と多摩区は平均人員数が2.00を下回っています。

参考文献等

注：国勢調査では、「世帯数」とは「一般世帯」と「施設等の世帯」の大きく2つに分けていますが、ここで言う「世帯数」とは「一般世帯」のことを指します。

平成27年国勢調査人口等基本集計結果 結果の概要

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka/kihon1/pdf/gaiyou1.pdf> (2019.4.23 取得)

川崎市の世帯数・人口(平成31年4月1日現在)

<http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000105864.html> (2019.4.23 取得)

川崎市の世帯数・人口(平成11年4月1日現在)

<http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000015093.html> (2019.4.23 取得)

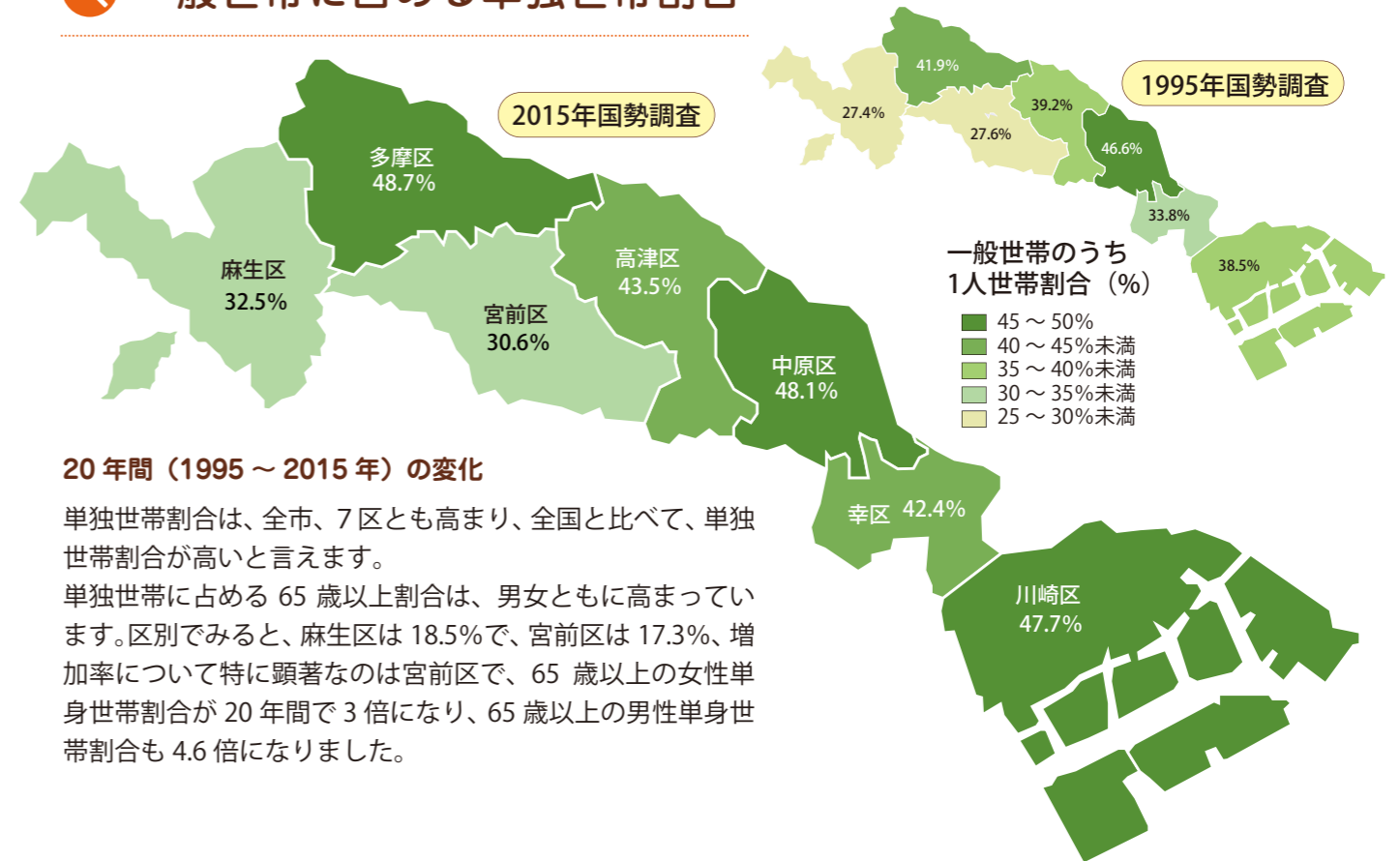
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント(平成30年1月1日現在)」

http://www.soumu.go.jp/main_content/000495315.pdf (2019.4.23 取得)

総務省「2005国勢調査 用語の解説(第1次基本集計)」

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/kihon1/yougo.html> (2019.4.23 取得)

一般世帯に占める単独世帯割合

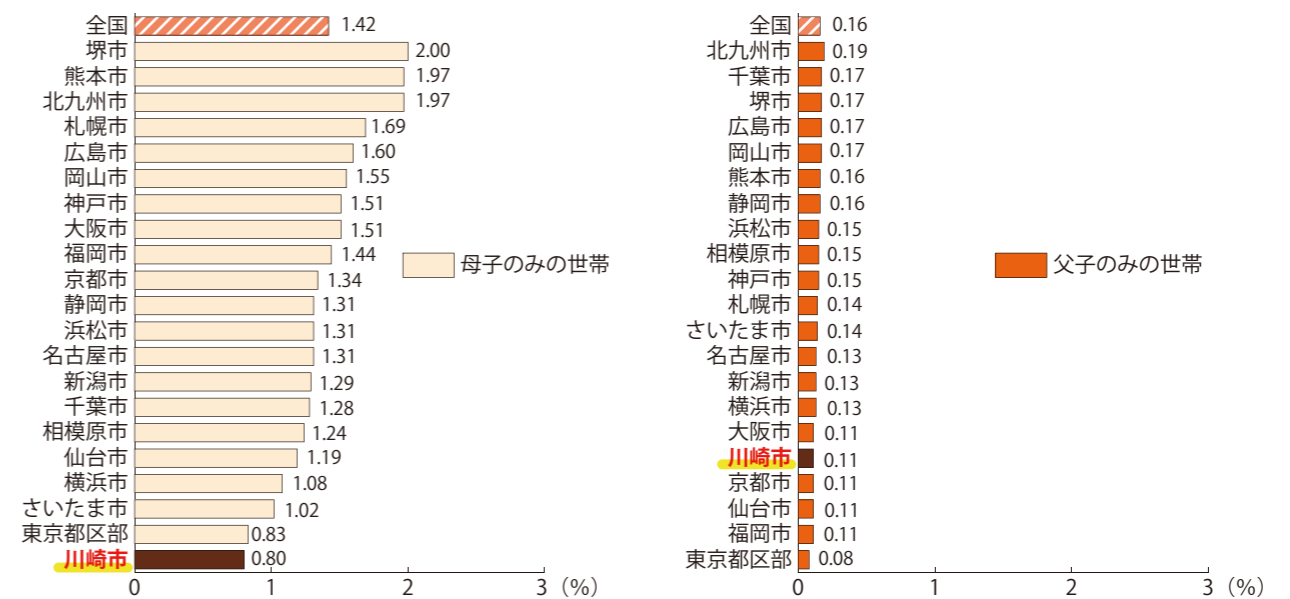


20年間(1995～2015年)の変化

単独世帯割合は、全市、7区とも高まり、全国と比べて、単独世帯割合が高いと言えます。

単独世帯に占める65歳以上割合は、男女ともに高まっています。区別で見ると、麻生区は18.5%で、宮前区は17.3%、増加率について特に顕著なのは宮前区で、65歳以上の女性単身世帯割合が20年間で3倍になり、65歳以上の男性単身世帯割合も4.6倍になりました。

母子／父子世帯割合(全国、政令指定都市比較)



出典：総務省統計局「平成27年国勢調査」を元に作成

母子のみ世帯と父子のみ世帯が全世帯に対してどのくらいあるかを見たグラフです。

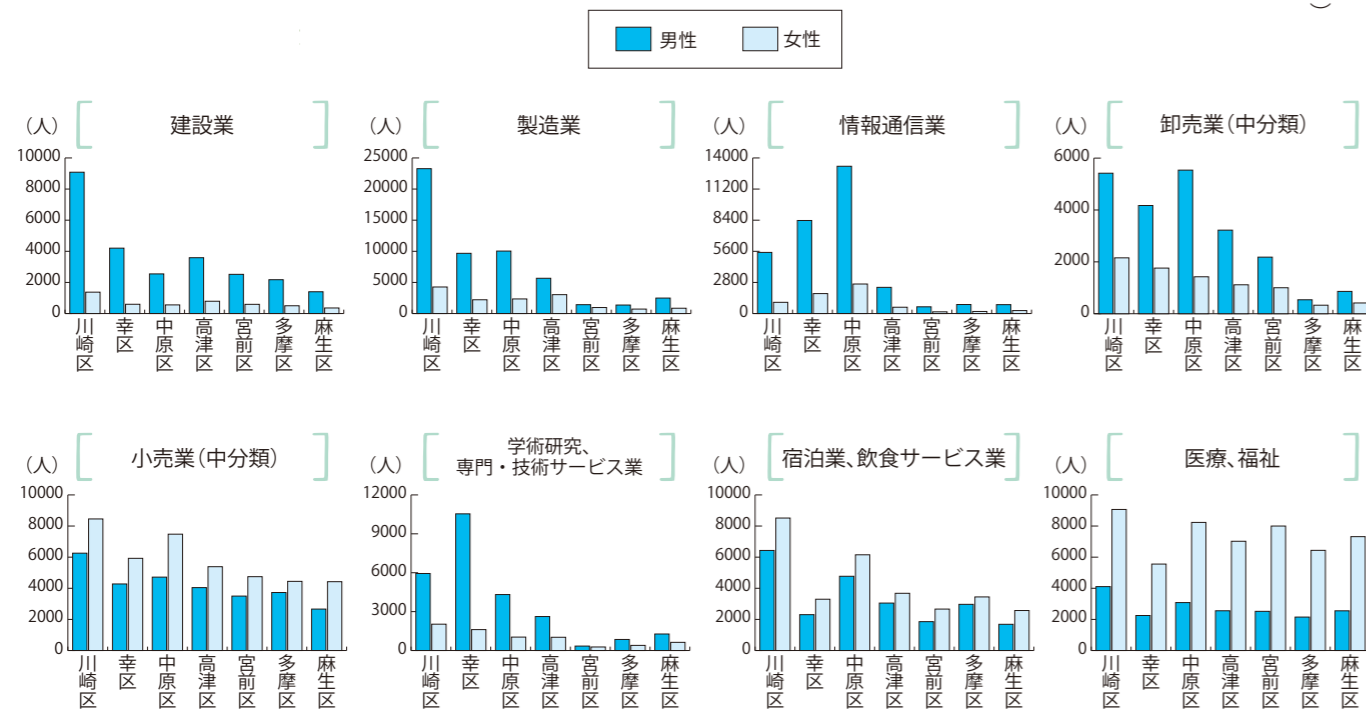
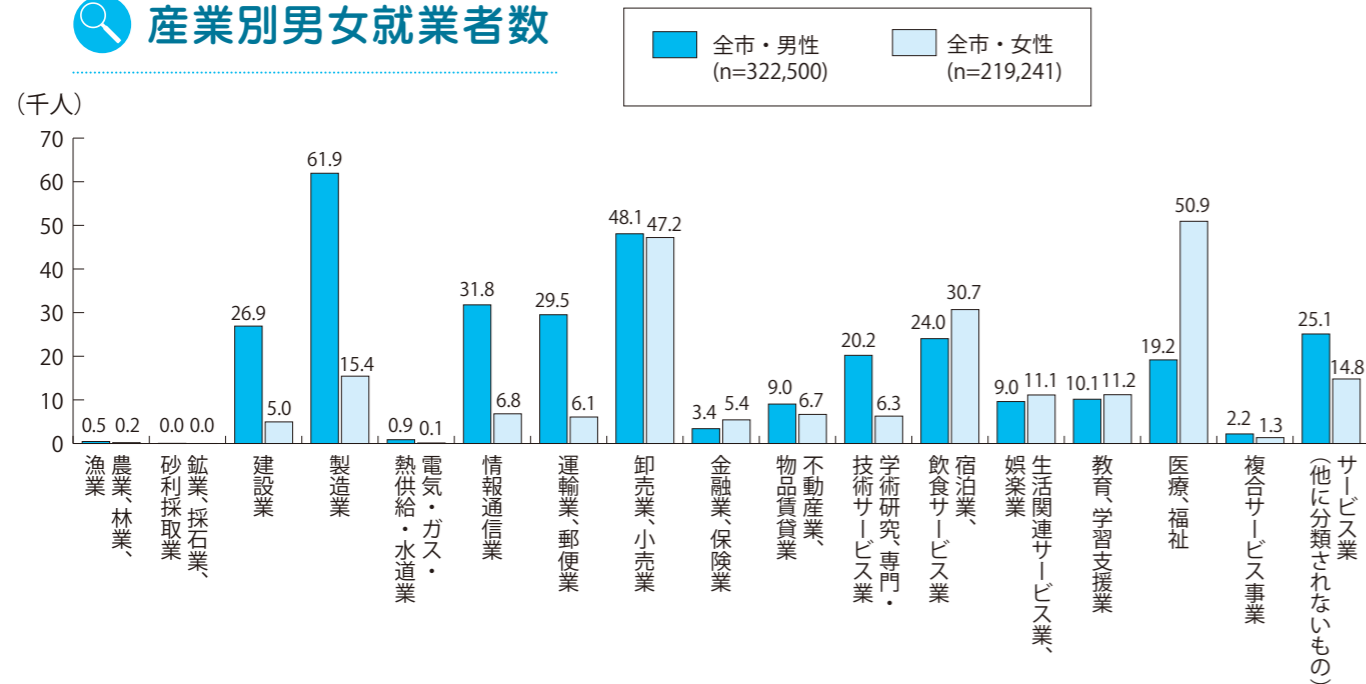
母子のみ世帯では、堺市、熊本市、北九州市が上位3位ですが、川崎市は0.80%と非常に少ないと言えます。

父子のみ世帯では、全国平均(0.16%)と比較して、北九州市、千葉市、堺市が上位3位ですが、川崎市は0.11%と非常に少ないと言えます。

産業構造とジェンダー

ここでは、かわさきで働く人びとを「産業構造とジェンダー」という観点から見てみましょう。かわさきは、中小企業が多く集まっているエリアです。どのような特徴があるのでしょうか。グラフを見て考えてみましょう。

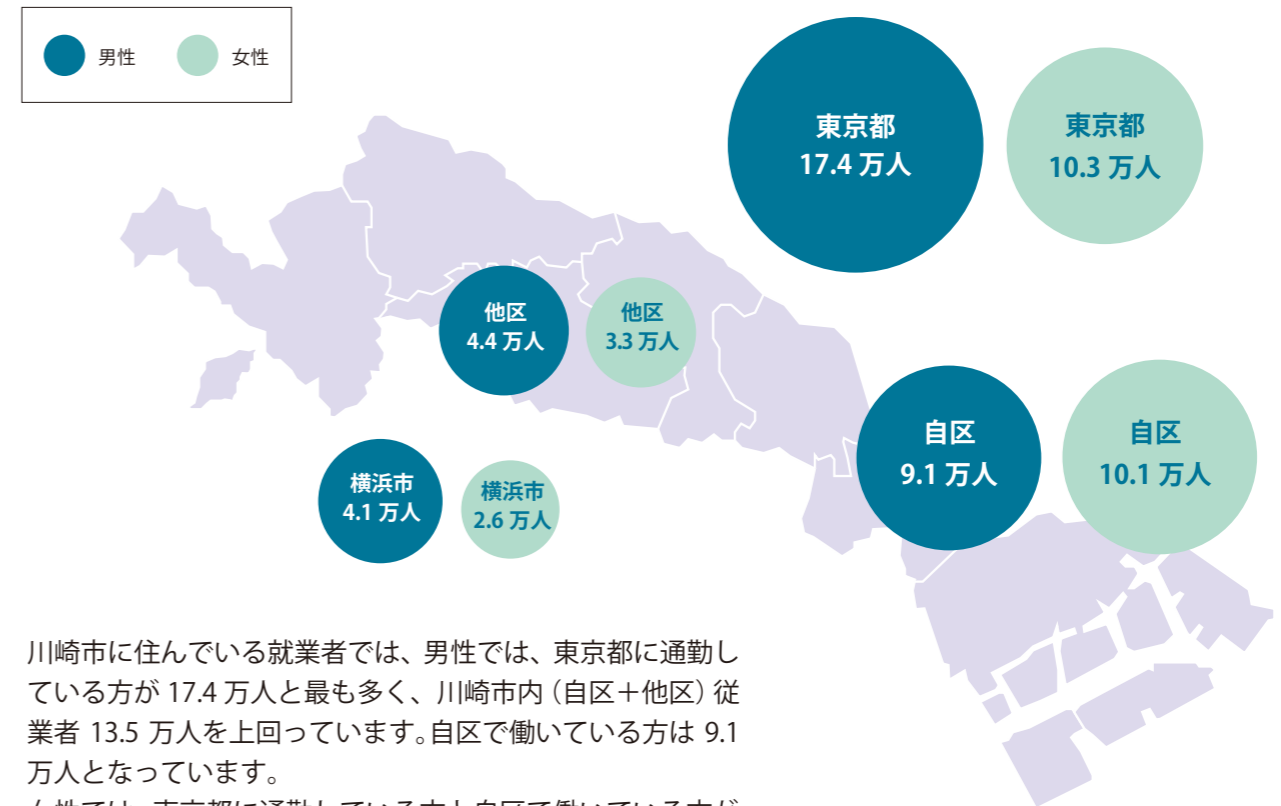
産業別男女就業者数



川崎市民男女の職業分離

かわさきで働く人びとを産業別で見ると、従事している業種が性別でかなり異なっていることがわかります。全市では、「医療・福祉」「宿泊業、飲食サービス業」などに女性が多く、「製造業」「情報通信業」「建設業」に男性が多くなっています。「卸売業・小売業」については男女ともに多くが従事しています。市内でも地域差があります。川崎区や幸区など南東のエリアでは、「建設業」「製造業」「学術研究、専門・技術サービス業」に従事する男性が多く、女性に多い「医療・福祉」「小売業」は区別で大きな違いは見られません。

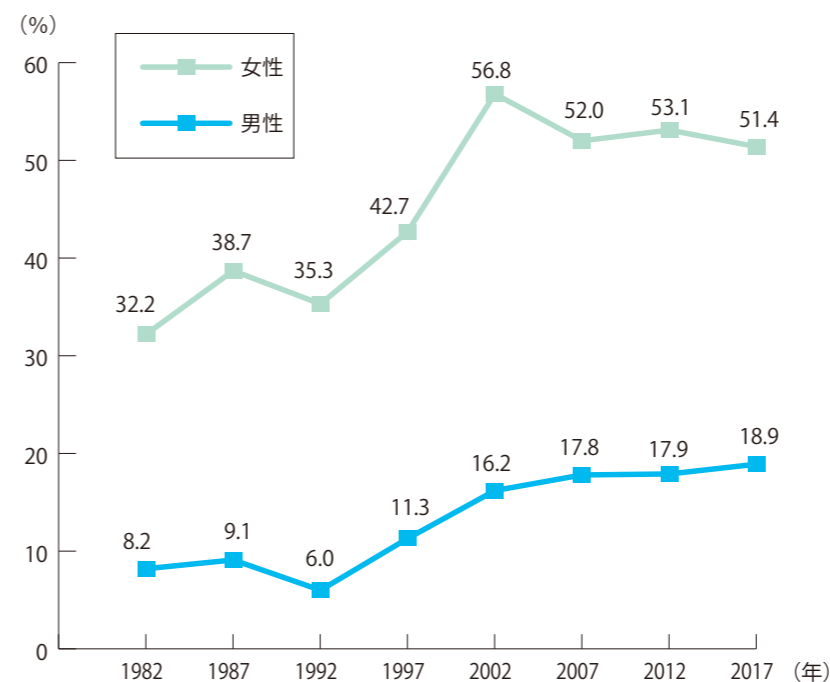
川崎市に住んでいる就業者の従業地



川崎市に住んでいる就業者では、男性では、東京都に通勤している方が 17.4 万人と最も多く、川崎市内（自区+他区）従業者 13.5 万人を上回っています。自区で働いている方は 9.1 万人となっています。女性では、東京都に通勤している方と自区で働いている方がほぼ同数で、男女差が顕著に見られます。

出典：総務省統計局「平成 27 年国勢調査」を元に作成

雇用者に占める非正規雇用比率の推移(川崎市)



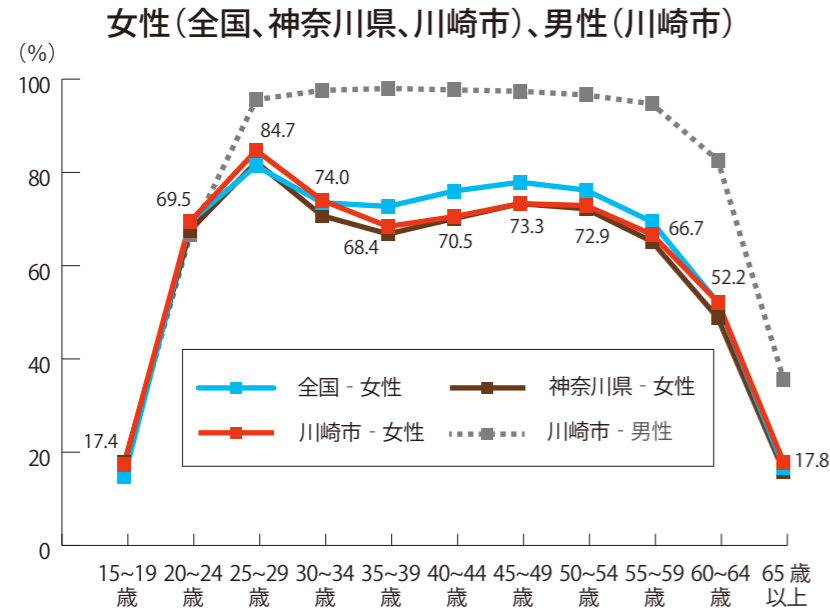
川崎市の雇用者に占める非正規雇用比率を 1982 年から 2017 年までの 35 年間で見てみると、男性が 8.2%から 18.9%と 10 ポイントあまり増えたのに対し、女性では 32.2%から 51.4%と 20 ポイント近く上昇しており、より非正規化が進んでいることがわかります。全国で見ても、同様の傾向が見られます。

出典：総務省統計局「就業構造基本調査」時系列統計表を元に作成

働く女性と雇用形態

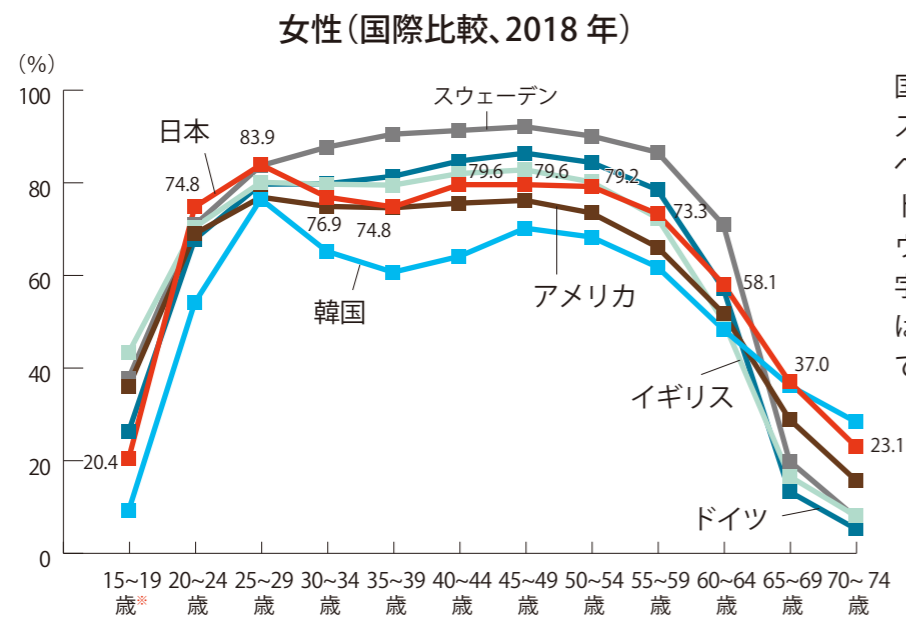
ここでは、かわさきで働く人びとを「働く女性と雇用形態」という観点から見てみましょう。かわさきは、都心への通勤圏内であり、実際に、東京都へ通勤している方が多いことは先に見たとおりです。女性の働き方には、どのような特徴があるのでしょうか。

年齢階級別労働力率



男性は 20 代後半から 50 代までは切れ目なくずっと就業しています。女性は M 字カーブ (11 ページ下欄参照。) になっており、川崎市だけでなく、全国でも、神奈川県でも同じです。

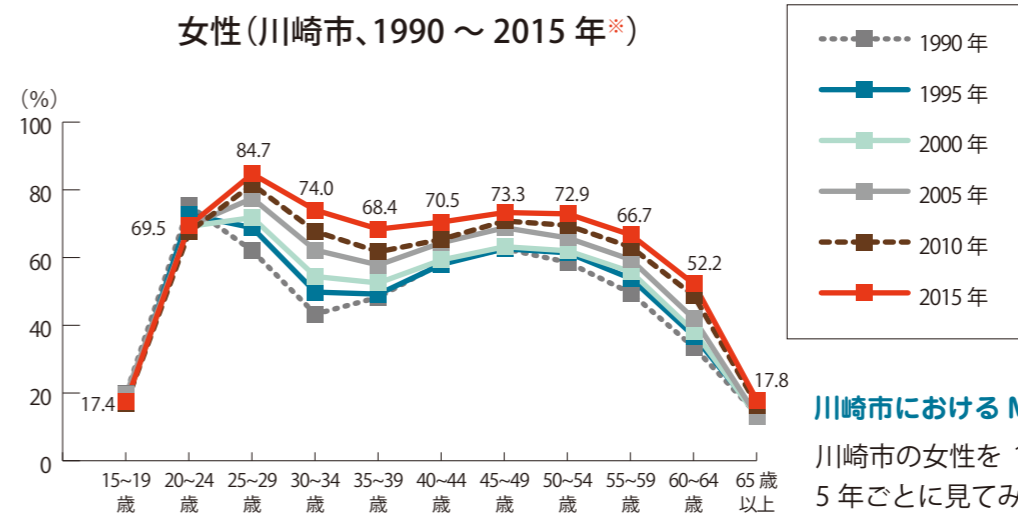
出典：総務省統計局「平成 27 年国勢調査」
川崎市「川崎市の人口(3) - 平成 27 年国勢調査 - 統計表」 <http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000091658.html> (2019.12.1 取得)
神奈川県「平成 27 年国勢調査就業状態等基本集計結果(神奈川県の概要)」
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x6z/tc30/jinko/kokucho/documents/00setumei.pdf> (2019.12.1 取得)
※いずれも労働力状態「不詳」を除く



国際比較で M 字カーブを見ると、スウェーデンは U 字カーブ (11 ページ下欄参照。) になっており、ドイツ、イギリス、アメリカもスウェーデンほどではなくとも、M 字には見えません。一方、韓国では、わが国よりも深い M 字を描いていることがわかります。

※アメリカ・イギリスは、16~19 歳
出典：(独)労働政策研究・研修機構『データブック国際労働比較 2019』(数値は 2018 年時点)を元に作成
<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2019/documents/Databook2019.pdf> (2020.2.24 取得)

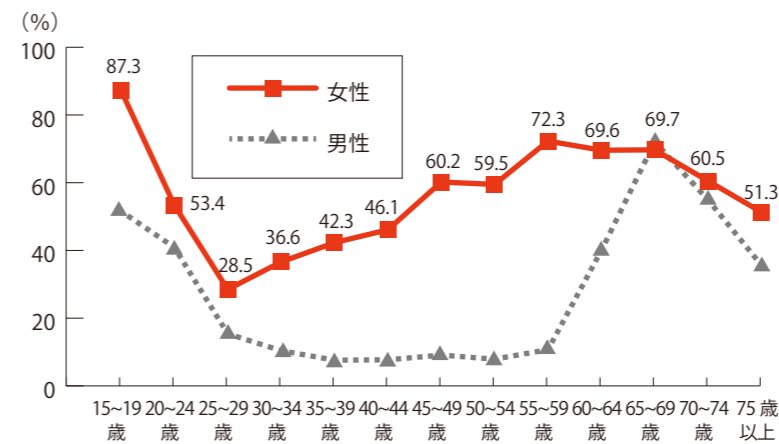
女性(川崎市、1990~2015 年※)



川崎市における M 字カーブ (トレンド)

川崎市の女性を 1990 年から 2015 年までを 5 年ごとに見てみると、M 字カーブのくぼみが徐々に浅くなっていることがわかります。ですが、30 代以降は未だ労働力率の低下が見られ、7 割前後に留まっています。

年齢階級別、非正規雇用比率※(川崎市)



女性の非正規雇用率は 20 代後半から上昇

男性では学卒後の 20 代後半以降、50 代まで非正規雇用比率は 10% 台かそれ以下であるのに対し、女性は 20 代後半から非正規雇用率の上昇が続き、40 代後半で雇用者の約 6 割に達します。

「平成 29 年就業構造基本調査結果」を元に作成
※雇用者に占める「派遣社員」「パート・アルバイト・その他」の比率

M 字カーブとは

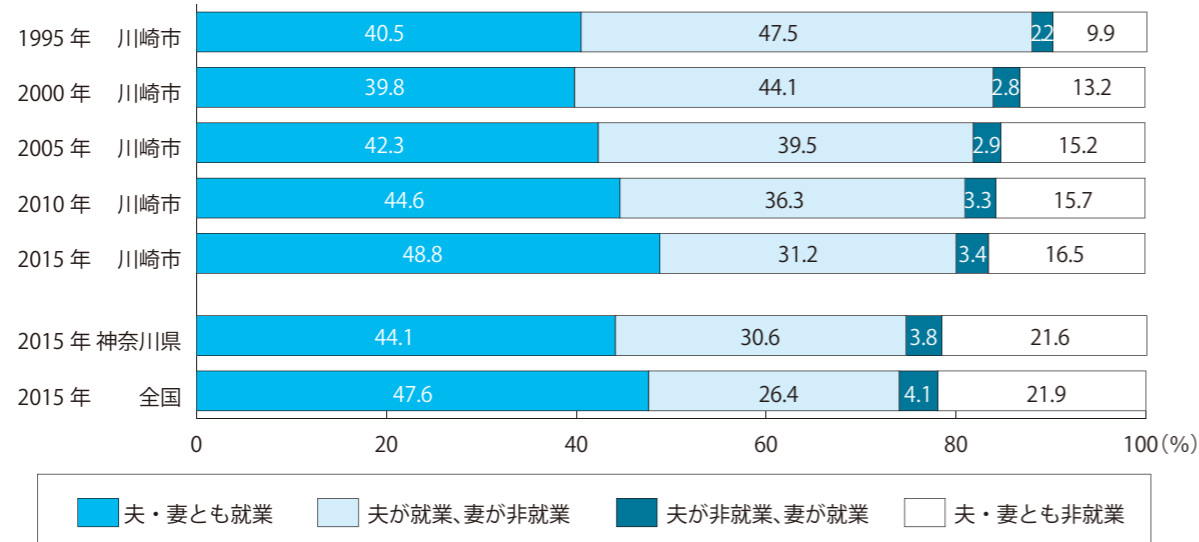
女性の 5 歳階級別労働力率を折れ線グラフで見ると、30 代から 40 代前半にかけて労働力率が下がっていることがわかってきます。アルファベットの「M」の字に見えることから、「M 字カーブ」と呼ばれています。女性の 30 代から 40 代前半と言えば、出産・子育て年齢に該当することから、「女性でこの年代で就労人口が減るのは自然なこと」と考える方も、わが国には多いと思われます。川崎市でも、全国的な状況と同様に、M 字カーブを描いており、全国平均よりも労働力率が低くなっています。

しかし、国際比較を見ると、諸外国では、M 字カーブにはなっていません。どうしてでしょうか。諸外国でも、出産するのは女性のはずです。M 字カーブを描かない諸外国の折れ線は「U」を逆さまにしているように見えることから「U 字カーブ」ということもあります。U 字カーブを描いている諸外国では、女性が出産や子育てで仕事を中断することなく、働き続けることのできる仕組みが備わっているとされています。

夫婦の働き方、生活の希望と現実

ここでは、かわさきで働く人びとを夫婦の働き方(共働き、片働き)という観点から見てみましょう。また、人びとが仕事や家庭、地域での活動について、どのような希望を持ち、どのような現実を生きているかも併せて見てみましょう。

夫婦の就業状態



出典：総務省統計局「国勢調査」、および川崎市「川崎市の人口(3)平成27年国勢調査結果報告書(人口重心及び就業状態等基本集計結果)」を元に作成

夫婦の働き方は、夫婦ともに就業する共働きと、男性が就業し女性が家で家事や育児をする片働き(専業主婦)の2つが全国では20年以上前(1997年)に逆転しています。川崎市でも、2000年には夫が就業し妻が非就業の世帯が多かったのが、2005年には夫・妻とも就業の世帯割合が最多になるという変化を見せています。2015年時点では、全国、神奈川県それぞれと比較しても、川崎市の夫・妻とも就業している世帯が48.8%と多いことがわかります。

子育て世帯は、本当に“共働き”と言えるのか

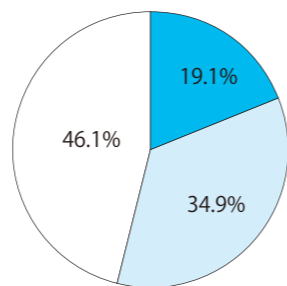
「夫婦と子供から成る世帯」のうち、妻年齢を25-34歳に限定し、さらに、「夫が週35時間以上雇われて働いている世帯」を取り出し100%にすると、週35時間以上雇用されて働いている(フルタイム)共働きはどれくらいいるかがわかります(筒井 2020)。このアイデアに基づき、最新のデータ(2019)で確認すると、答えは19.1%です。一方、専業主婦世帯は34.9%であり、これらの限定条件を付けた中では、約1.8倍の差があることがわかります。

参考文献等

筒井淳也 2020.2「日本で共働きが進まなかったのはなぜか：ほんとうに必要な働き方改革」
<https://wezz-y.com/archives/72511> (2020.2.21 取得)

妻の労働力状態

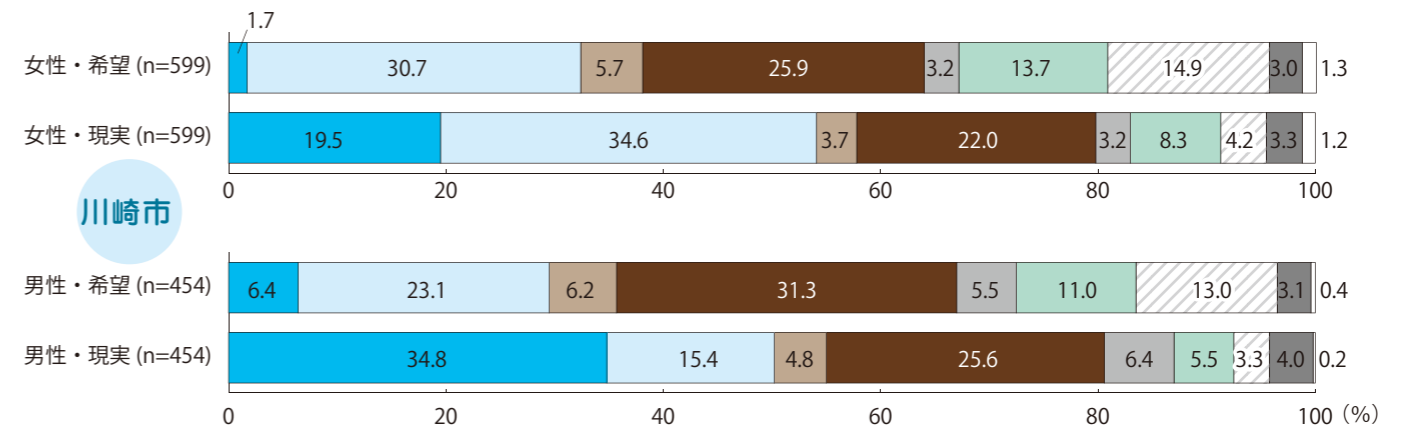
*夫が週35時間以上雇用者である、夫婦と子供から成る世帯の妻 (母数：152万世帯)



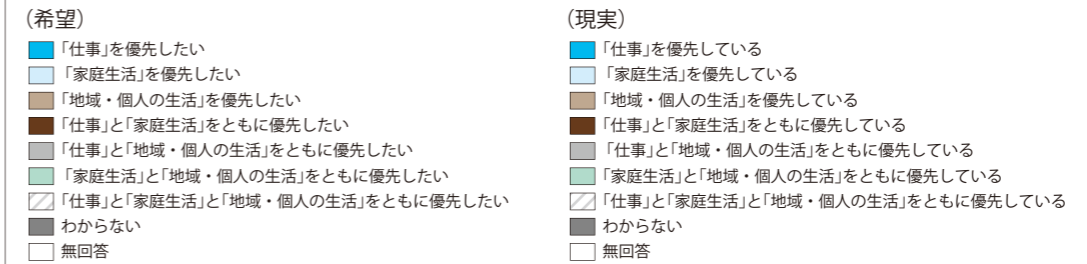
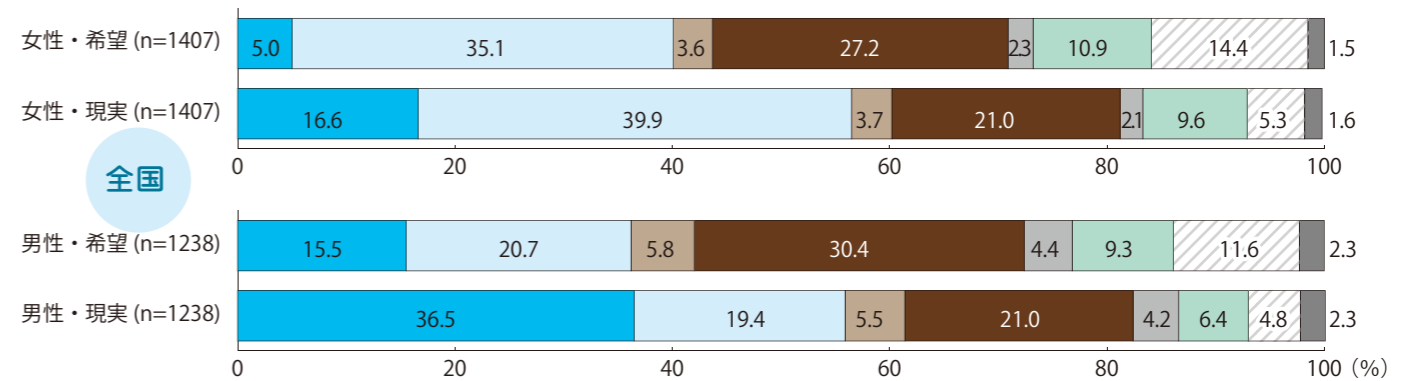
■ 妻週35時間以上 ■ 専業主婦(非労働力) □ その他

出典：総務省統計局「労働力調査」(2019)を元に作成

生活優先度の希望と現実



出典：川崎市男女共同参画センター、2018、「かわさきの男女共同参画に関するアンケート」を元に作成



出典：内閣府、2019、「令和元年度 男女共同参画社会に関する世論調査報告書」を元に作成
<https://survey.gov-online.go.jp/r01/r01-danjo/index.html> (2019.12.1 取得)

希望と現実にギャップのある現状

仕事や家庭、地域・個人の生活のうち、いずれを優先したいかの希望と、いずれが優先となっているかの現実を聞いた結果からは、希望と現実にギャップのある現状が見えてきます。

川崎市では、女性は「家庭生活を優先したい」人と「仕事と家庭をともに優先したい」人が多く、次いで、「家庭と地域・個人をともに優先したい」、「仕事と家庭と地域・個人をともに優先したい」人も多く見られます。一方の現実には、希望よりも「仕事を優先している」人が多く、仕事、家庭、地域・個人の3つとも優

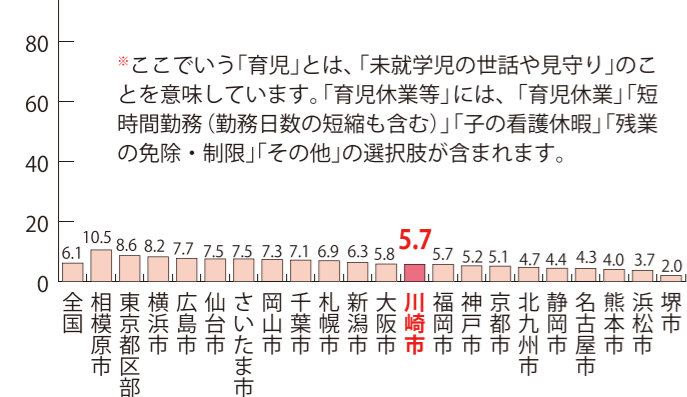
先することが難しいことがわかります。男性では、家庭優先や仕事と家庭をともに優先したい希望を持ちながらも、「仕事を優先している」人が多いことがわかります。全国では、おおよそのトレンドは、男女とも川崎市と同じです。

以上のことから、希望の上では、男女ともに仕事のみや家庭のみを優先するのではなく、両立志向が見られるのに対し、現実には、男性は仕事を、女性は家庭を優先する性別役割分業が存在していることがわかります。

男性の育児休業等利用実態と意識

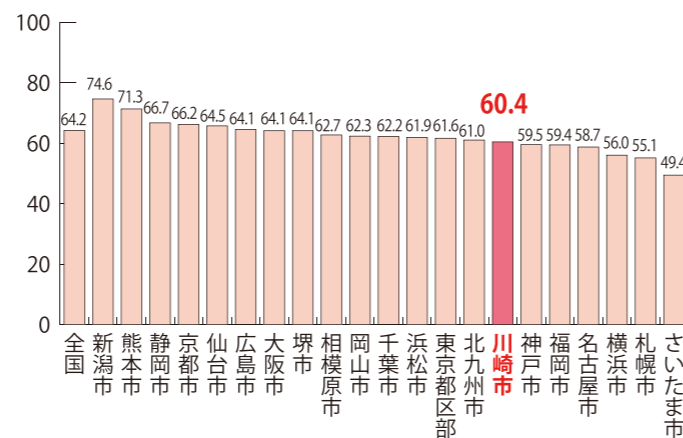
「イクメン」という言葉とともに、男性の子育ては話題になることが増えています。ここでは、かわさきで子育てする人びとについて、育児休業等の利用に関する実態や意識などから、その特徴を見てみましょう。

育児をしている男性雇用者に占める育児休業等制度利用率*



*ここでいう「育児」とは、「未就学児の世話や見守り」のことを意味しています。「育児休業等」には、「育児休業」「短時間勤務(勤務日数の短縮も含む)」「子の看護休暇」「残業の免除・制限」「その他」の選択肢が含まれます。

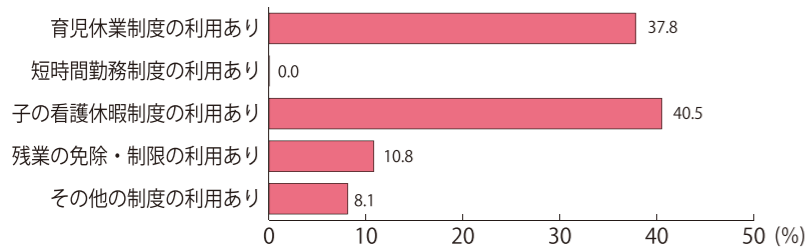
育児をしている女性有業率



出典：「平成 29 年就業構造基本調査」

川崎市の内訳

利用ありの男性の各制度利用状況 (複数回答)



出典：「平成 29 年就業構造基本調査」を元に作成

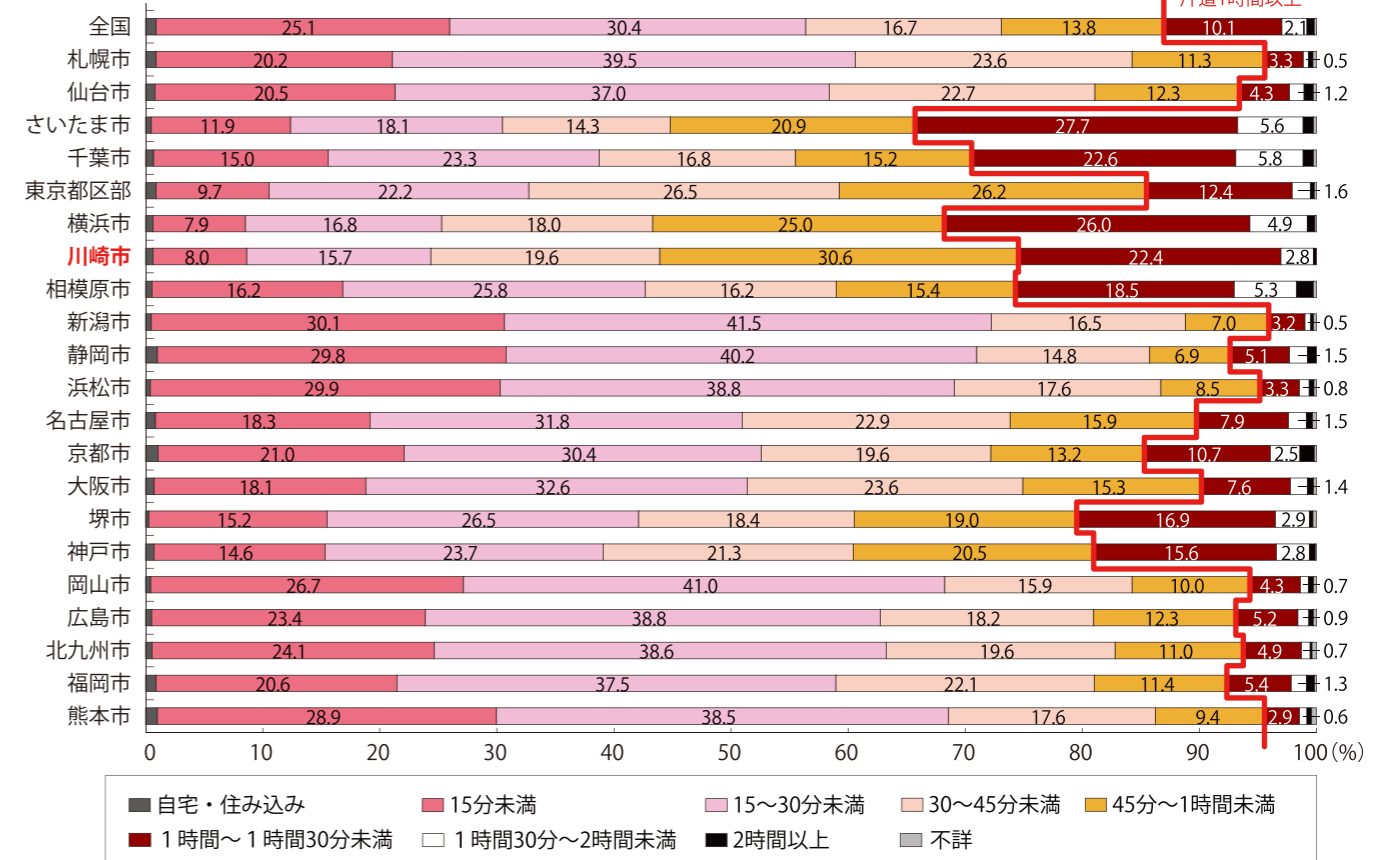
川崎市の「利用あり」5.7%のうち、利用した制度の内訳を見ると、「育児休業制度」と「子の看護休暇」の利用が 4 割程度あり、その他はあまり利用されていないことがわかります。

男性の育児休業について、あれこれ

1991年に成立した育児休業法は、たびたび改正され、2010年の改正から専業主婦を配偶者に持つ男性労働者も取得可能になり、男性も育児休業を取得すべきという声も聞かれるようになりました。実際のところ、育児休業中の男性はどのように過ごしているのでしょうか。取得日数が数日という方もいるでしょうし、育児休業「等」制度には、上述のように「子の看護休

暇制度」や「残業の免除や制限」の利用も含まれます。また、最近では育休で家にいるけれども、妻から言われた手伝いをするだけ、あるいは、子どもを見ずにゲームや居眠りをしているなど、育児への関わりが不十分な／欠いた「とるだけ育休」もあるそうです(『夫の『とるだけ育休』=海原純子『毎日新聞』2020年2月16日)。

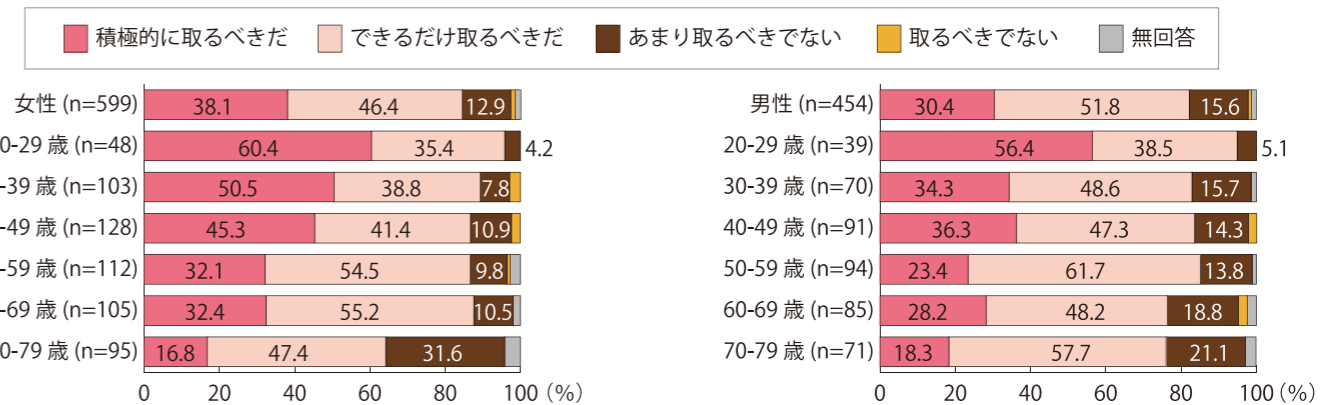
家計を主に支える者の通勤時間



出典：総務省統計局「平成 30 年住宅・土地統計調査」を元に作成

家計を主に支える者の通勤時間を全国と政令指定都市で比較してみると、川崎市は、さいたま市や横浜市と並んで、長時間通勤であることがわかります。これに長時間労働であるとするれば、仕事がある日に自宅に滞在し起きて活動する時間がほとんどないことが推測されます。

一般的に男性が育児休業を取得することについて(川崎市)



出典：川崎市男女共同参画センター、2018「かわさきの男女共同参画に関するアンケート」を元に作成

男性が育児休業を取得することについて、川崎市民の意識は、「積極的に取るべきだ」と「できるだけ取るべきだ」を合わせた賛成派は女性(全年代)で 84.5%、男性でも 82.2%と圧倒的な多数派であることがわかります。年代が上がると「積極的に取るべきだ」とする回答に減少傾向が見られ、70代の女性回答者では否定派が 3 割以上となっています。

まとめ

一般に男性が育児に積極的に関わるることについては、性別や年代での差異が見られるものの、多くの市民が賛成するようになっています。一方で、育児休業等の制度を利用する対象となる男性が、実際にどの程度制度を利用できているかを見れば、まだまだ十分とは言えません。希望が実現するような働き方と育児・家事の両立のために、育児休業等の利用率を上げていくための施策をさらに推し進めるとともに、利用中はどのように過ごすかも考える必要があります。

女性議員

ここでは、かわさきで意思決定にかかわる人びとについて、市議会議員における女性議員割合の20年間の変化や他都市比較から見ていきましょう。

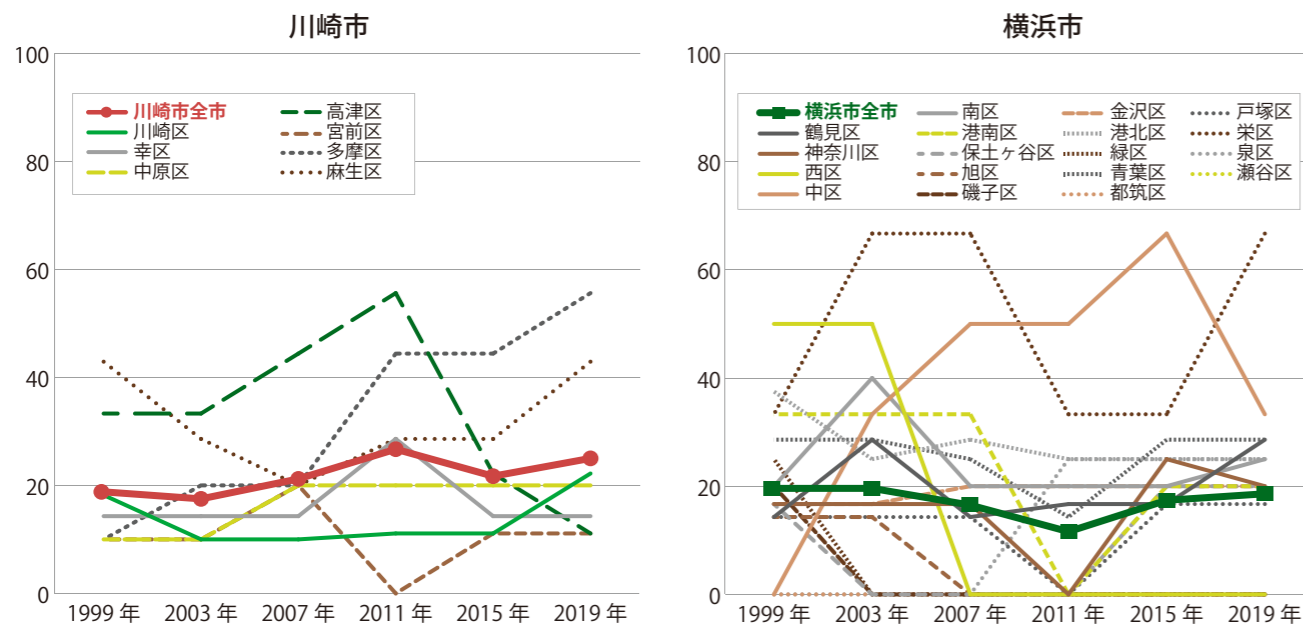
市議会議員における女性割合

川崎市議会議員における女性議員割合 (1999～2019年)

	女性議員割合(%)		各区議員定員(人)	
	1999年	2019年	1999年	2019年
川崎市全市	18.8	25.0	64	60
川崎区	18.2	22.2	11	9
幸区	14.3	14.3	7	7
中原区	10.0	20.0	10	10
高津区	33.3	11.1	9	9
宮前区	10.0	11.1	10	9
多摩区	10.0	55.6	10	9
麻生区	42.9	42.9	7	7

(参考比較)

川崎市議会議員と横浜市議会議員における女性議員の割合



変化の Point ②

女性議員の割合は必ずしも、増加傾向にありません。全市比較では、横浜市より川崎市の方が女性議員割合は高い傾向が続いています。各区の比較をすると、女性議員がいない区といる区の差が大きいことがわかります。ここ20年ずっと女性議員がゼロのところがある一方で、過半数を女性が占める区もあり、全市比較(各区を平均)では、わからない区格差が伺えます。

18.8% から 25.0%
(1999年川崎市) (2019年川崎市)

12/64 から 15/60

19.6% から 18.6%
(1999年横浜市) (2019年横浜市)

変化の Point ①

1999年の時点から割合は増加しているが、実人数で見ると、定員が4名減り(64から60名)、その分女性議員が3名増えた(12から15名)ことがわかります。

地方議会における女性議員の割合

(2018年12月末現在)

	1999年 12月末	2018年 12月末
都道府県議会	5.5%	10.0%
市議会	9.8%	14.7%
政令指定都市議会	14.1%	17.2%
町村議会	4.2%	10.1%
特別区議会	19.7%	27.0%
合計	6.2%	13.1%

変化の Point ③

全国的な状況について20年の変化をみると、川崎市議会は1999年時点で、2018年時点での政令指定都市議会の女性議員割合より高かったことがわかります。国内での比較においては、川崎市議会は先進的と言えます。しかし、国際比較で見れば、まだまだです。国内目標の2020年までに30%を達成できるかどうか引き続き取り組みが進められる必要があります。

国会議員に占める女性の割合

(2019年1月現在)

衆議院	10.2%
参議院	20.7%

国会議員における女性割合(国際比較)

(2019年7月現在)

国名	順位	割合
スウェーデン	7	47.3
ノルウェー	16	40.8
フランス	18	39.7
イギリス	39	32.0
ドイツ	46	30.9
アメリカ	78	23.6
韓国	124	16.7
日本	163	10.2

※列国議会同盟(IPU: Inter-Parliamentary Union) 資料より作成。
調査対象国は2019年7月現在191か国。
※二院制の場合は下院の数字。
※下院または一院の女性割合の世界平均は24.3%(上院は24.4%)
(2019年4月現在)。

参考文献等

選挙ドットコム 神奈川県川崎市議会議員選挙(1999年04月11日投票) <https://go2senkyo.com/local/senkyo/10184> (2019.7.23 取得)

選挙ドットコム 神奈川県川崎市議会議員選挙(2003年04月13日投票) <https://go2senkyo.com/local/senkyo/10183> (2019.7.23 取得)

選挙ドットコム 神奈川県川崎市議会議員選挙(2007年04月08日投票) <https://go2senkyo.com/local/senkyo/10181> (2019.7.23 取得)

平成23年4月10日執行 川崎市議会議員選挙 川崎区の開票(確定) (2011年04月10日投票) <http://www.city.kawasaki.jp/910/cmsfiles/contents/0000106/106446/kaihyousigi.pdf> (2019.7.23 取得)

平成27年4月12日執行 川崎市議会議員選挙(2015年04月12日投票) <http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/58-1-12-2-1-1-0-0-0-0.html> (2019.7.23 取得)

選挙ドットコム 神奈川県川崎市議会議員選挙(2019年04月07日投票) <http://www.city.kawasaki.jp/910/cmsfiles/contents/0000106/106446/kaihyousigi.pdf> (2019.7.23 取得)

内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」 <http://www.gender.go.jp/research/kenkyu/suishinjokyo/suishin-index.html> (2019.7.23 取得)

内閣府男女共同参画局『令和元年度 男女共同参画白書』

市役所・市立小中高校における女性管理職

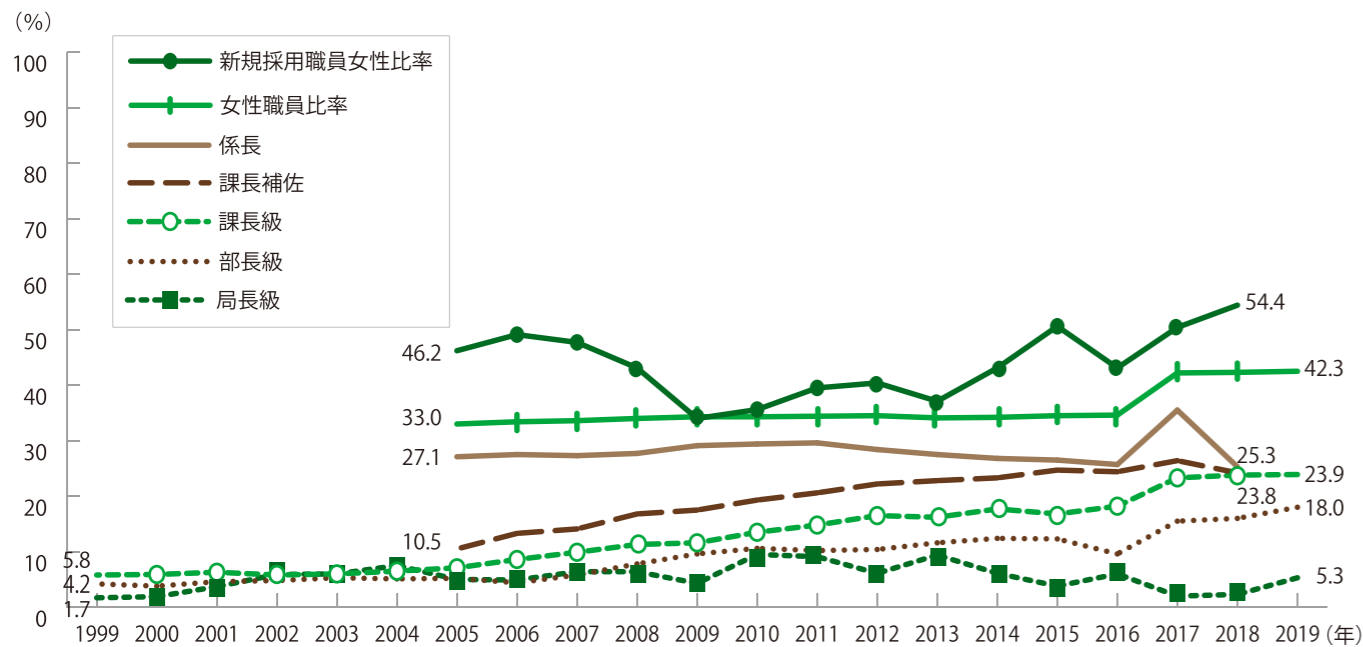
ここでは、かわさきで意思決定にかかわる人びとについて、別の観点から見てみましょう。市役所と市立小中高校における女性管理職割合から、ここ 20 年の変化を見てみましょう。

市役所における女性管理職割合



変化の Point ①
課長級以上が管理職ですが、その課長級でみると、1999年の時点では女性は約 17 人に 1 人程度でしたが、2019 年時点で約 4 人に 1 人程度になりました。
部長級では、4.2% (24 人に 1 人) でしたが 18.0% (5.6 人に 1 人) に、局長級では、1.7% (59 人に 1 人) から 5.3% (19 人に 1 人) になりました。

川崎市役所における女性管理職割合の推移 (1999~2019年)



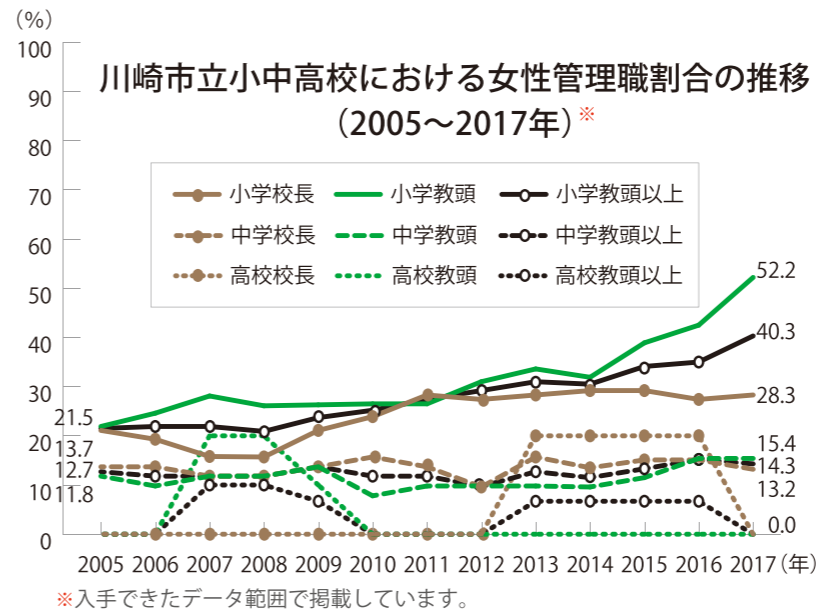
注) 課長級、部長級、局長級については、市役所人事課よりデータの提供を受けた。新規採用職員女性比率、女性職員比率、係長、課長補佐については、川崎市男女平等推進計画〜かわさき☆かがやきプラン〜年次報告書から。各年 4 月 1 日時点。なお、2016 年度から県費で雇用していた教職員が市に移管されたことによる影響により、平成 29 (2017) 年度の管理職における女性割合が微増している。

参考文献等
川崎市「川崎市職員の人事に関する統計報告」<http://www.city.kawasaki.jp/940/page/0000044198.html> (2019.12.24 取得)
川崎市「川崎市の学校 (学校基本調査) - 昭和 62 ~ 平成 30 年度学校基本調査結果」<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/51-4-7-2-0-0-0-0.html> (2020.1.12 取得)
川崎市男女平等推進審議会「答申：川崎市における男女平等推進計画について 2003 (平成 15) 年 11 月 10 日公表」<http://www.city.kawasaki.jp/250/cmsfiles/contents/0000001/1317/genjo.pdf> (2020.1.12 取得)
内閣府男女共同参画局『令和元年版 男女共同参画白書』2019 年 6 月

市立小中高校における女性管理職割合



変化の Point ②
小中高校においては、校長・教頭 (学校によっては副校長) が管理職ですが、教頭以上の女性割合は、小学校では全国と比較してかなり高いものの、高等学校ではないという状況が続いています。

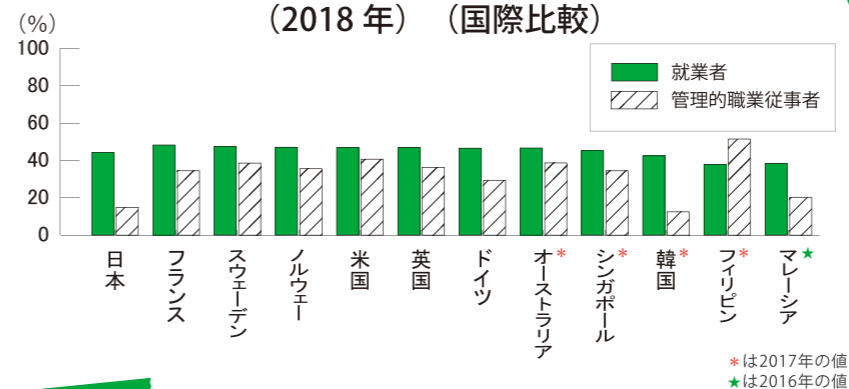


管理職輩出率 (%)

		1988年度	1998年度	2008年度	2018年度
小学校長	女性	0.4	1.1	0.8	1.5
	男性	8.2	8.7	8.1	5.5
小学教頭	女性	0.6	1.3	1.3	2.2
	男性	7.9	8.4	7.2	4.3
中学校長	女性	0.0	0.7	0.9	0.7
	男性	4.1	4.8	4.6	4.4
中学教頭	女性	0.2	1.2	0.9	1.3
	男性	4.0	4.6	4.6	4.0

(参考) 管理的職業従事者に占める女性の割合 (国際比較)

就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合 (2018年) (国際比較)



変化の Point ③
各国の状況と比較すると、就業者に占める女性の割合は多くの国で 4 割以上になっており、日本も同じです。しかしながら、管理的職業従事者に占める女性の割合は、日本は、韓国の方が若干低いものの、同程度に女性割合が著しく低い国であることがわかります。

まとめ

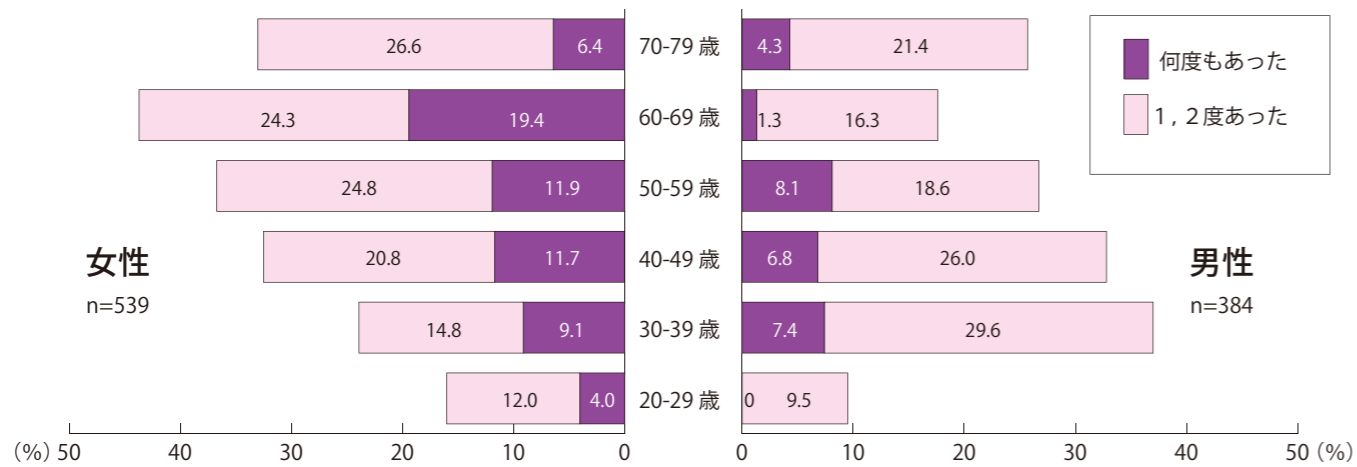
管理職輩出率 (管理職の性別を分子とし、全教員に占める性別人数を分母として計算) を見てみると、男性のほうが管理職になる人が多いことがわかります。小中高で一番女性校長の多い小学校では、1988 年度に 20 倍以上の違いがありましたが、1998 年度 (7.9 倍)、2008 年度 (10.1 倍) を経て、2018 年度では 3.7 倍に縮んでいます。
引き続き、女性管理職を増やす取り組みが必要です。管理職の女性割合だけでなく、管理職になりうる職位 (課長補佐、係長級) の女性割合をモニターすることや、採用の際の女性割合を高めることが重要です。そして、女性が多い職場において、なぜ女性管理職が輩出されにくいのか、その背景を明らかにした上で、阻害要因を取り除くことも急務と言えます。

DV、デート DV 被害実態、意識実態

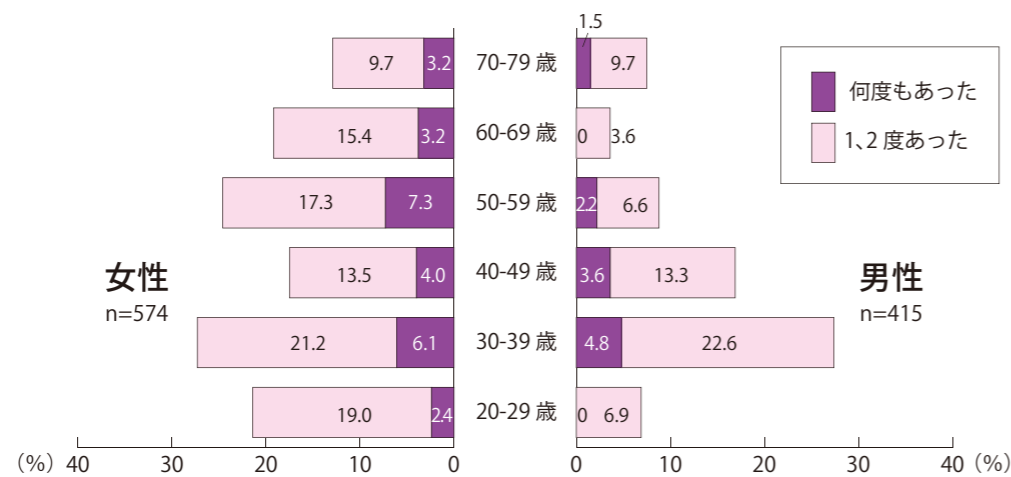
ここでは、かわさきで暮らす人びとの人権について、DV やデート DV の被害の実態や意識の実態という観点から見てみましょう。

DV、デート DV 被害実態(川崎市)

DV被害実態 (性別・年代別)



デートDV被害実態 (性別・年代別)



川崎市でも年齢にかかわらず、DV被害に遭っている方がいます。交際相手(恋人)との間で起きるものは「デートDV」と呼ばれています。配偶者/パートナーとは別に、これまで交際相手がいたことがある人にデートDVの被害経験を聞いたところ、20代では女性の約5人に1人が、30代では男女とも約4人に1人強が被害経験を持っています。全国調査と比較しても、決して少なくありません。

参考文献等

川崎市男女共同参画センター 2018年実施 「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書」

「殴る」「蹴る」だけではない DV

身体的暴力

思い通りにならないと殴る、髪を引っ張る、腕を強くつかむ、物を投げつける、突き飛ばす など

精神的暴力

傷つく言葉を言う、無視する、やさしくすると暴力を交互にして混乱させる、機嫌が悪いのを相手のせいにする など

性的暴力

無理やり性行為をする、避妊に協力しない、見たくないやらしい雑誌や映像を見せる など

社会的暴力

交友関係や電話を細かく監視する、外出をさせない、行動や服装を細かくチェックしたり制限する など

経済的暴力

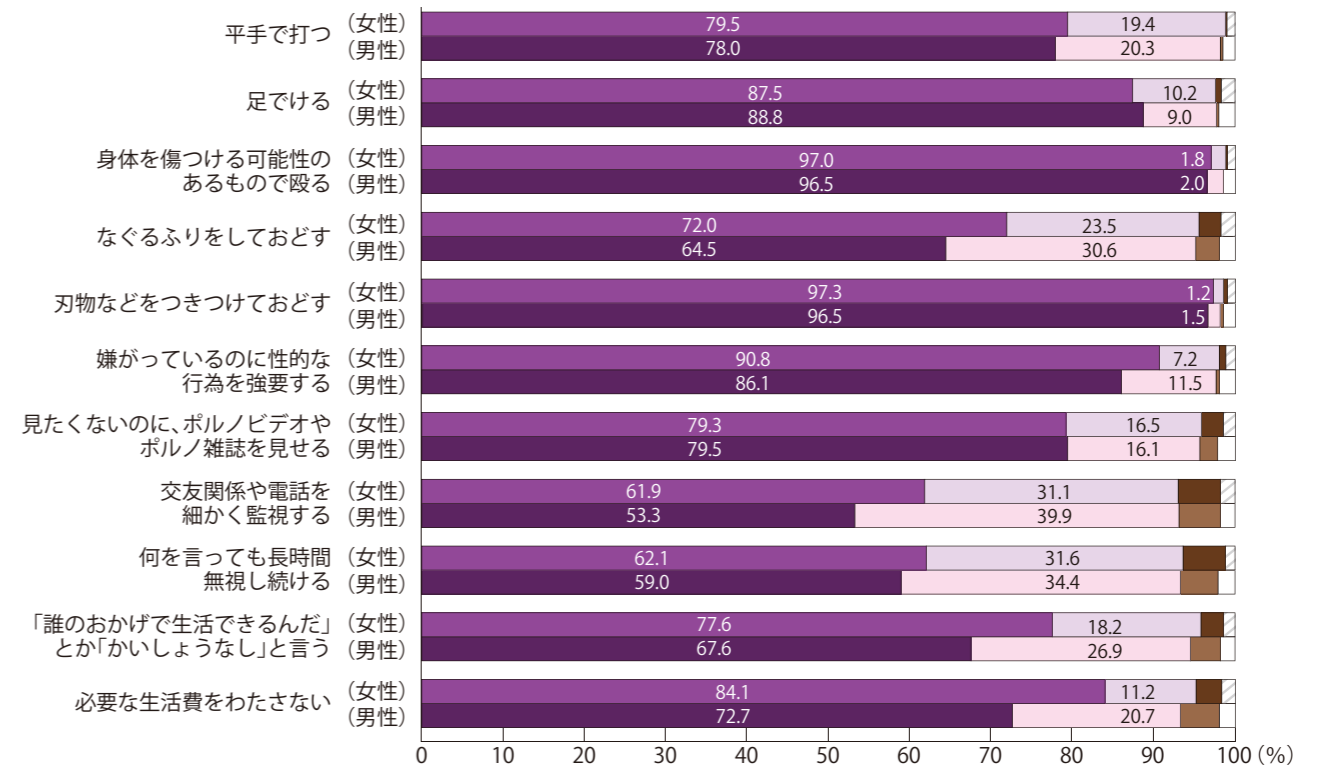
無理やり物を買わせる、お金を借りたまま返さない、デート費用をいつも負担させる など

こんなことが配偶者/パートナーや交際相手(恋人)などの間で
行われた場合、DV やデート DV に当たります。

DV についての認識 (川崎市)

女性： ■ どんな場合でも暴力に当たると思う ■ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う ■ 暴力に当たるとは思わない 無回答

男性： ■ どんな場合でも暴力に当たると思う ■ 暴力に当たる場合も、そうでない場合もあると思う ■ 暴力に当たるとは思わない 無回答



DVは被害者も加害者も「これは暴力だ」「こういうことをしている/されているのはおかしい」と気が付くことが大切です。「交友関係や電話を細かく監視する」ことが「どんな場合でも暴力に当たると思う」人は、女性でも約6割、男性では約5割に留まります。「何を言っても長時間無視し続ける」ことは男女とも約6割となっています。このような「暴力」と認識されづらい行為が認識されていくことも、暴力をなくしていくための一歩になるはずです。

暴力のない関係を築くこと、相談

ここでは、DV やデート DV を含む加害行為や被害行為を発生させないためには、どうすればよいかを考えるとともに、自分や身近な人が被害に遭った場合にどうすればよいかも考えてみましょう。

DV やデート DV を含む加害行為や被害行為を発生させないために

配偶者／パートナーや交際相手(恋人)との関係だけでなく、友人・知人などとの関係においても、暴力のない関係を築いていきましょう。そのためには、

暴力を認めない

どんな事情があったとしても、暴力をふるっていいという理由にはなりません。暴力によらない解決方法があるはず。暴力は、身体的なものに限らず、精神的なものや性的なものもあります。どのような暴力であったとしても、暴力をふるうことは許されるものではないのです。

自分のことを大切にす

人はみんな生まれながらにして一人ひとり大切にされるべき存在です。暴力をふるわれてもいい人など一人もいません。でも、自分を大切にする気持ちを持っていないと、暴力をふるわれたとき、相手に対してはっきりと「NO」の意思表示をすることが難しくなります。あなたは、自分のことは自分で決めることができるのです。いやなことには「NO」と言うことができるのです。自分の気持ち、自分の体を大切にする気持ちを持ちましょう。

相手のことも大切にす

自分のことを大切にする気持ちと同じように、相手への思いやりの心、相手を大切にする心を常に持つことも大事です。相手の話に耳を傾けましょう。自分の意見や考えを相手に押しつけず、相手が自分と異なる意見や考えを持っていたとしても、まずはそういった違いがあるということを受け入れましょう。そして、自分はどう思うのか、相手に言葉で伝えましょう。
(「人と人とのより良い関係をつくるために 交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」より)

身近な若い人や知人・友人が気になっている大人のあなたへ

私自身は、DV の被害経験はないけれど、という大人のあなたへ。

「暴力をふるわれる人にも、悪いところがある」とか「もっと上手にやればよいのに」などと思ったりしていませんか。

どのような理由があっても、暴力という手段を使って、相手に自分の言うことを聞かせようとすることは、現在では、してはいけないこと、とされています。

直接、相手に暴力をふるってなくても、被害を受けている方に対して攻めたり、暴力をふるう側を擁護したりすることも、被害者を追い詰めたり、さらに傷

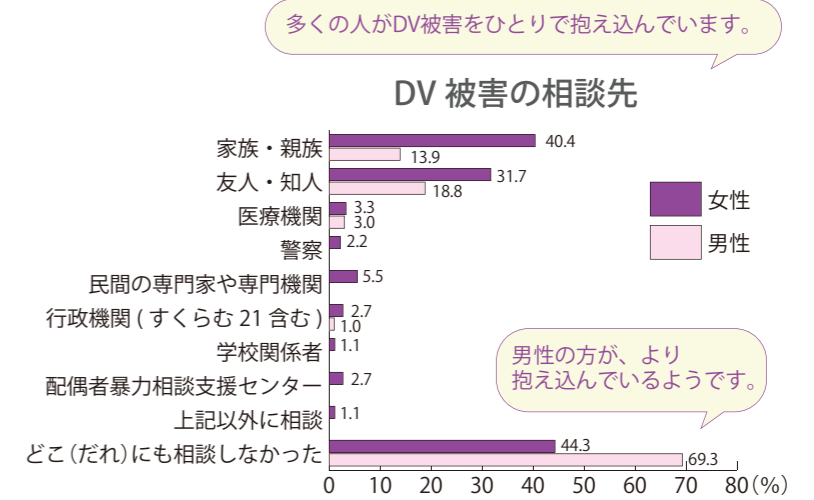
つけることとなります。

「どのようなことがあっても、暴力は認めない」という姿勢を広げていくことが、暴力をふるったりふるわれたりしていないみなさんにも、できることです。

私たちの社会で、すべての人が「どのようなことがあっても、暴力を認めない」に「そう思う」と言えるようになったときに、暴力に苦しむ方々も減っていくことでしょう。

そのような暴力のない未来に向けて、川崎市民のみさんと、一緒に歩んでいきたいと思ひます。

DV 被害者は女性だと約半数、男性だと7割以上がどこ(だれ)にも相談せずに一人で抱え込んでいます。DV 被害の相談先としては、男女とも「友人・知人」「家族・親族」という身近な人への相談が多い傾向にあります。



DV は公的機関や支援団体に相談してよい問題です。

「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を知らせる」ことが「予防への第一歩」と私たちは考えています！

配偶者／パートナーや交際相手(恋人)との関係で「何か違和感がある」「息苦しい」「怖い、逆らえない」…こんな思いがある人は、ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

身近に、こんな思いでいる人をご存知の方は、相談してもよいこと、相談機関の情報を、押し付けにならないように、お知らせください。

相談先一覧

川崎市 DV 相談支援センター ☎044-200-0845

月～金曜日 9:30 ～ 16:30 (祝日および年末年始を除く)

悩みを抱えている女性のための電話相談

ハロー・ウィメンズ110番 ☎044-811-8600

月～木曜日 10:00 ～ 15:00 金曜日 15:00 ～ 20:00

日曜日 12:00 ～ 17:00 (土、祝日および年末年始を除く)

男性のための電話相談 ☎044-814-1080

水曜日 18:00 ～ 21:00 (祝日および年末年始を除く)

若者が公的機関に相談すること

大人も含めて、私的な関係について公的機関に相談することは、いまだに敷居の高い問題です。

特に、若年層では、市役所・区役所などに用事で出かける経験がほとんどないこともあってか、自分たち若者が公的機関の窓口に出かけても、相手にされないと考えている人もいます。

残念なことに、大人の中にも、デート DV などの若者の問題を知らないか、しっかり対応すべき問題だとの認識が少ない人もいます。

そんなときも、いまだ少数派かもしれませんが、デート DV に悩む若者の相談に乗ってくれる、相談してもどうすべきかを指示しないで受けとめてくれる大人も存在するのです。

そんな大人に出会うまで、あきらめないで、助けを求めてください。

大人も、若者から相談される、信用される存在であるように、取り組みを進めていきます。

参考文献等

川崎市男女共同参画センター 2018年実施 「かわさきの男女共同参画に関するアンケート調査報告書」
内閣府男女共同参画局「人と人とのより良い関係をつくるために 交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」(平成30年度改訂)
http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/violence_research/yobou/kyozai.html (2020.2.24 取得)